



「大黒様（だいこくさま）」

石原和三郎 作詞・田村虎蔵 作曲

『尋常小学唱歌 第二学年 中』

明治三八年（一九〇五年）

おぼつかしいことばの意味を書いてみました。

一、

大きなふくろを かたにかけ
大黒さまが 来かかると
ここにいなばの 白うさぎ
皮をおかれて あかはだか

二、

大黒さまは あわれがり
「きれいな水に 身を洗い
がまのほわたに くるまれ」と
よくよくおしえて やりました

三、

大黒さまの いうとおり
きれいな水に 身を洗い
がまのほわたに くるまれば
うさぎはもとの 白うさぎ

四、

大黒さまは たれだろう
おおくにぬしの みこととて
国をひらきて 世の人を
たすけなされた 神さまよ



ガマのほ

あわれがり

かわいそうに思い

がまのほわた

水辺の植物のガマの
ほからとれる綿

おおくにぬしの
みこと

おおくにぬしのみこ
と という名の神さま